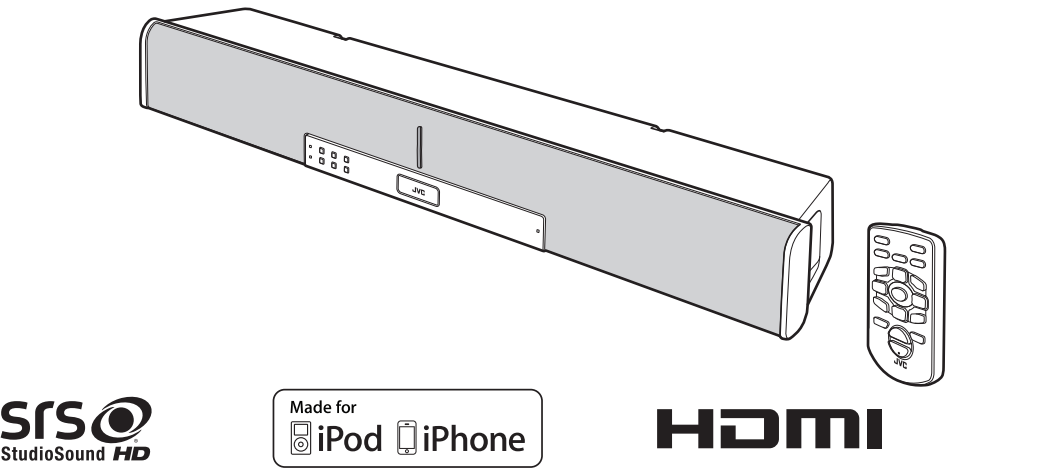
JVC

取扱説明書

ホームシアターサウンドシステム

型名 **TH-BC3**

SRS StudioSound HD　Made for iPod iPhone　HDMI

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

お買い上げいただきありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

オートパワーセーブ(節電機能)について
本機は、消音状態などが29分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ機能」があり、お買い上げ時は有効になっています。詳しくは2ページの「基本操作」の「APS(オートパワーセーブ)を設定／解除する」をご覧ください。

* JVCは日本ビクターのグローバルブランドです。

GVT0327-001A
0111WMKMDWJMM

はじめに

- 本書では、主に**リモコンのボタンを使って**操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合には、いずれのボタンもお使いいただけます。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書の説明とは異なる操作でも動く機能があります。
- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhoneとiPod touchを含めます。iPhoneとiPod touchを指すときは、「iPhone」「iPod touch」と表記します。

再生できるiPod

Made for (対応iPod)	音楽	ビデオ	Made for (対応iPod)	音楽	ビデオ
iPod nano (第6世代)	○	○*3	iPod touch (第2世代)	○	○
iPod nano (第5世代)	○	○	iPod touch	○	○
iPod nano (第4世代)	○	○	iPod classic	○	○
iPod nano (第3世代)	○	○	iPhone 4	○	○
iPod nano (第2世代)	○	—	iPhone 3GS	○	○
iPod touch (第4世代)	○	○	iPhone 3G	○	○
iPod touch (第3世代)	○	○			

*3 静止画のみ
- iPodの取扱説明書もご覧ください。
- 「NOT SUPP」表示が点灯した場合、接続されたiPodは本機では対応していません。
- iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  - iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。
    <http://www.apple.com/jp/>
- iPodの最新の対応状況については、弊社ホームページをご覧ください。

本機を設置するときは
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

前面　15 cm　15 cm　15 cm

主な仕様

実用最大出力
　60 W (30 W × 2)
　(JEITA THD 10% / 4 Ω)*1
入力端子
- アナログ(ANALOG IN):
　1 Vrms/50 kΩ
- デジタル*2
　DIGITAL IN 1(光):
　−21 dBm ～ −15 dBm
　(660 nm ± 30 nm)
　DIGITAL IN 2(同軸):
　0.5 V(p-p)/75Ω
- ACアダプター(DC IN):
　DC 19 V ⎓ 3.37 A

スピーカー
- 種類:
　バスレフ方式
- スピーカーユニット:
　低音: 8 cm × 4
　高音: 2.5 cm × 2
- 最大許容入力:
　30 W
- 定格インピーダンス:
　4 Ω
- 再生周波数帯域:
　82 Hz ～ 25 kHz
- 出力音圧レベル:
　88 dB/W•m

共通
- 電源: 付属のACアダプター(AA-R1904)
　入力:AC 100 V − 240 V〜、
　50 Hz/60 Hz、1.5 A − 0.9 A
　出力:DC 19V ⎓ 3.37 A
- 消費電力(電源待機時):
　0.50 W以下
- 外形寸法:
　幅900 mm × 高さ98 mm × 奥行き107 mm
　幅900 mm × 高さ130 mm × 奥行き109 mm
　(スタンドおよびスタンドベース取り付け時)
- 質量:
　3.4 kg

iPod
- 出力:
　DC 5 V ⎓ 1 A
- ビデオ出力(VIDEO OUT):
　コンポジット

HDMI
- 入力端子:
　HDMI 1 IN、HDMI 2 IN*2
- 出力端子:
　HDMI OUT
- 最大解像度:
　1920 × 1080p、60Hz

*1 JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
*2 リニアPCMのみに対応しています。
　(サンプリング周波数:32 kHz、44.1 kHz、48 kHz)

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

故障かな?と思ったら

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。
修理を依頼する前に、下記の項目をチェックしてみてください。

電源が入らない。
➞ 電源プラグをしっかり差し込んでください。

突然電源が切れる。
➞ オートパワーセーブ(節電機能)が設定されています。2ページの「基本操作」の「APS(オートパワーセーブ)を設定／解除する」をご覧ください。

リモコンで本機を操作できない。
➞ 絶縁シートを引き抜いてください。
➞ リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。
➞ リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
➞ リモコンをリモコン受光部に向けて操作してください。
➞ 本体に近づいて操作してください。
➞ 新しい電池と交換してください。

テレビのリモコンでテレビを操作できない。
➞ 本機をテレビの近くに設置するときは、付属のテレビ用リモコン信号転送ケーブルを接続してください。

音声が聞こえない。
➞ 一時的に消音されています。リモコンの[消音]を押すか、[音量+]または[音量−]で音量を調節してください。
➞ ソースが「DIGITAL1」または「DIGITAL2」のとき、接続した再生機器の出力設定を確認し、PCM信号が出力されるように設定してください。
➞ ソースが「HDMI1」または「HDMI2」のとき、HDMIケーブルで接続した再生機器の出力設定を確認し、PCM信号が出力されるように設定してください。
➞ ソースが「TV ARC」のとき、接続したテレビがARCに対応しているか、また正しく設定されているかを確認してください。また、デジタル音声の出力設定を確認し、PCM信号が出力されるように設定してください。さらに本機のCECの設定が「ON」であることを確認してください。

iPodがしっかりと接続できない。
➞ iPodおよび本機のコネクター部分が損傷していないか確認し、iPodを接続し直してください。

iPodの音が出ない。
➞ iPodを本機からはずし、もう一度接続し直してください。

iPodが充電されない。
➞ iPodを本機からはずし、もう一度接続し直してください。そのあと、電源を入れ直してください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは
本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一、雷や静電気などによる動作の異常が発生したときや、ボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってから接続し直してください。

準備する　すべての接続が終わるまで、電源コードをコンセントに差し込まないでください。

付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- リモコン RM-STHBC3(1個)
- ACアダプター AA-R1904(1個)
- 電源コード(1個)
- リチウム電池 CR2025(リモコン動作確認用・1個)
  - 出荷時にリモコンの中に入っています。
- コアフィルター(4個)
- 光デジタル音声コード(1個)
- テレビ用リモコン信号転送ケーブル(1個)
- 両面接着テープ(1個)
- スタンド一式
  - スタンド(2個)
  - スタンド用ねじ(M5 ×8mm) (2個)
  - スタンドベース (2個)
  - スタンドベース用ねじ(M3 ×10mm) (4個)
  - フットスペーサー(2個)

リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。
操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

電池を交換する
電池ぶたを引き出し、電池の+面を上にして入れてください。

ご注意
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、別紙の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

壁への取り付け
本機は壁に取り付けることができます。

ご注意
- 本機の重さは約3.4キロです。落下による事故を防ぐために、取り付けるときには注意してください。
- 落下を防ぐためにも、十分な強度を持つ柱や壁、ねじを用いて取り付けてください。
- ベニヤ板や石膏ボード類には設置しないでください。落下する恐れがあります。
- 壁へ取り付けるときには、以下のことに注意してください。
  - 必ず専門の業者に依頼してください。
  - 取り付ける場所は慎重に選んでください。日常生活の妨げになる場所は避けてください。けがをしたり物が破損する場合があります。
  - 付属のACアダプターを他の物の上に掛けたり設置したりしないでください。必ず平らな床へ置くようにしてください。

壁掛け用ねじ穴の寸法

コアフィルターの取り付け

ノイズを軽減させるため、付属のコアフィルターを電源コードと外部機器のコードに必ず取り付けてください。
コアフィルターにコードを通し、さらにコードを一巻きさせてください。巻いたあと「カチッ」という音が鳴るまで閉めてください。

ご注意
- 巻き付けるときに無理な力を加えてコードを引っ張ったりすると、コードを損傷させる恐れがあります。

本機の設置

よりよい音質を確保するため、本機は段差のない平らな場所に設置してください。
- 音質は本機の設置場所や向きにより変化しますので、最適な場所や向きを選んで設置してください。
- ブラウン管テレビをお使いの場合:
  本機のスピーカーは、防磁設計になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

ご注意
- 本機を床やテーブルの上で引きずったり、押して動かしたりしないでください。底のフットスペーサーが本機からはがれたり、取れてしまう恐れがあります。

棚などへの設置
付属のスタンド一式を使用して、本機を棚などの平面に置くこともできます。
- 壁に取り付けるときは、スタンド一式を使用しないでください。

設置方法は、お好みにより2つの方法から選べます:
- スタンドの下にフットスペーサーを貼り付けて、スタンド全体を本体に取り付ける
- 必要に応じてスタンドとフットスペーサーの間にスタンドベースを取り付けて、スタンド全体を本体に取り付ける

1 付属のフットスペーサーを付属のスタンドの下に貼り付ける(2個)

- 付属のスタンド、スタンドベースおよびフットスペーサーに左右の区別はありません。

2 フットスペーサーを貼り付けたスタンドを本体の左右2か所に取り付ける

- 付属のスタンドベースをスタンドとフットスペーサーの間に取り付けて、高さを調節することもできます。

テレビ用リモコン信号転送ケーブルの接続

テレビの近くに本機を設置すると、本機がテレビのリモコン信号をさえぎって、テレビ本体に届かないことがあります。付属のテレビ用リモコン信号転送ケーブルを本機に接続すると、テレビのリモコン信号を転送できます。

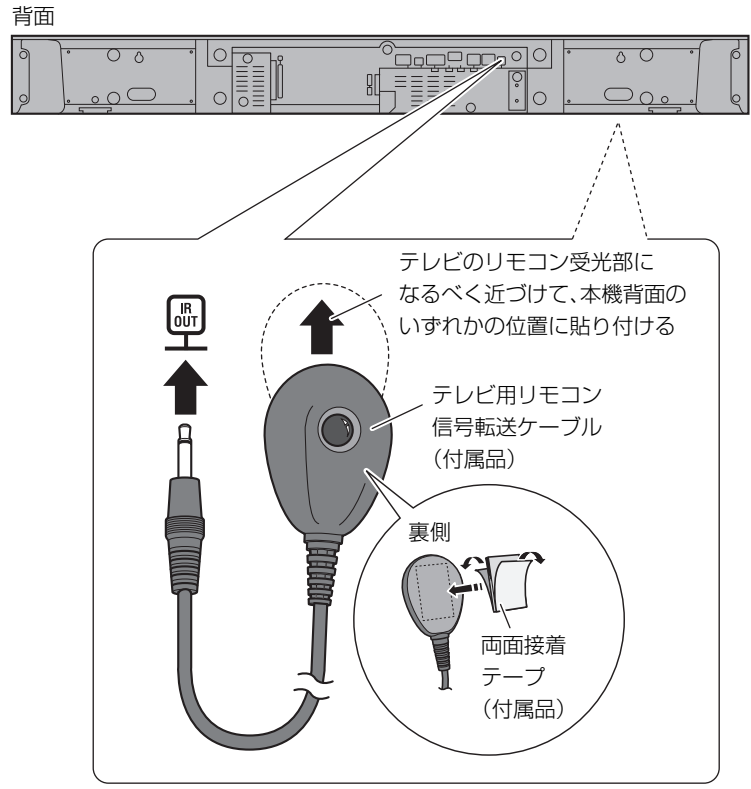
下図のように、テレビ用リモコン信号転送ケーブルを IR OUT端子に接続してください。ケーブルをお使いのテレビのリモコン受光部になるべく近づけて、本機背面に貼り付けてください。

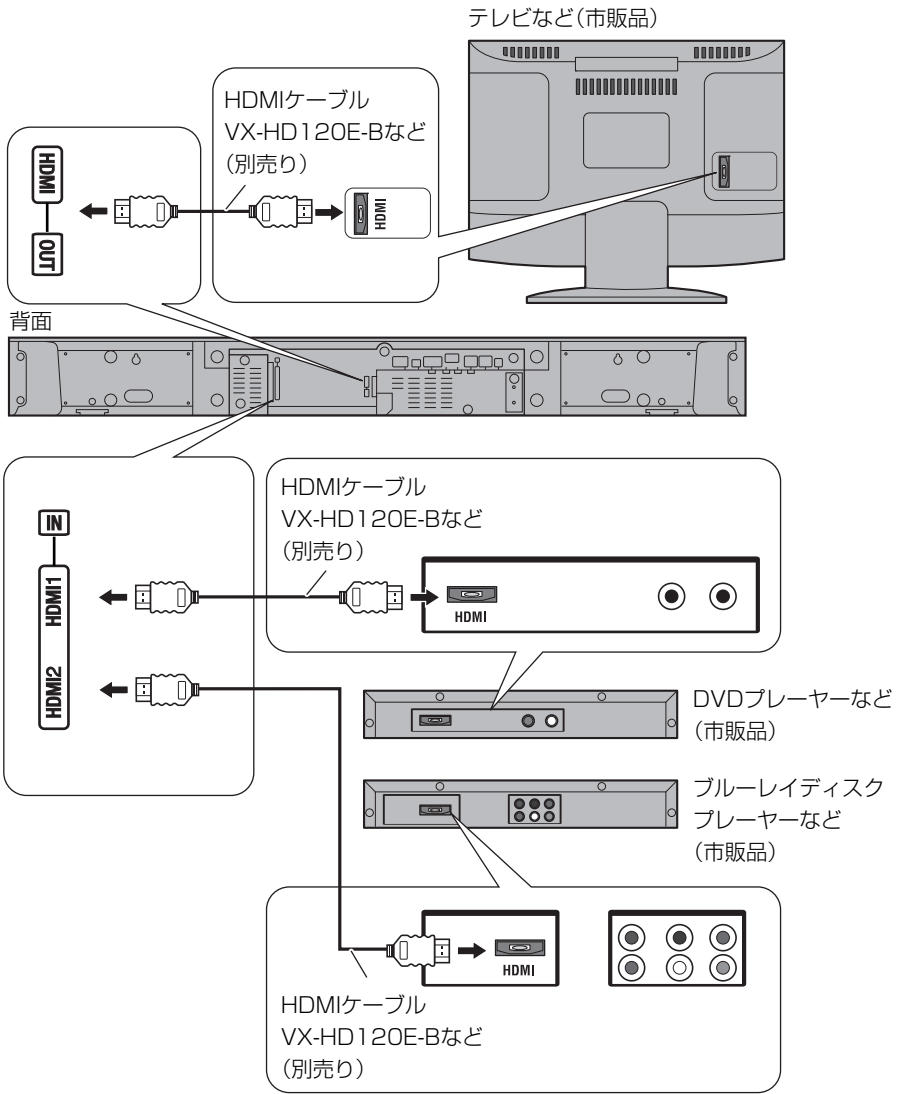
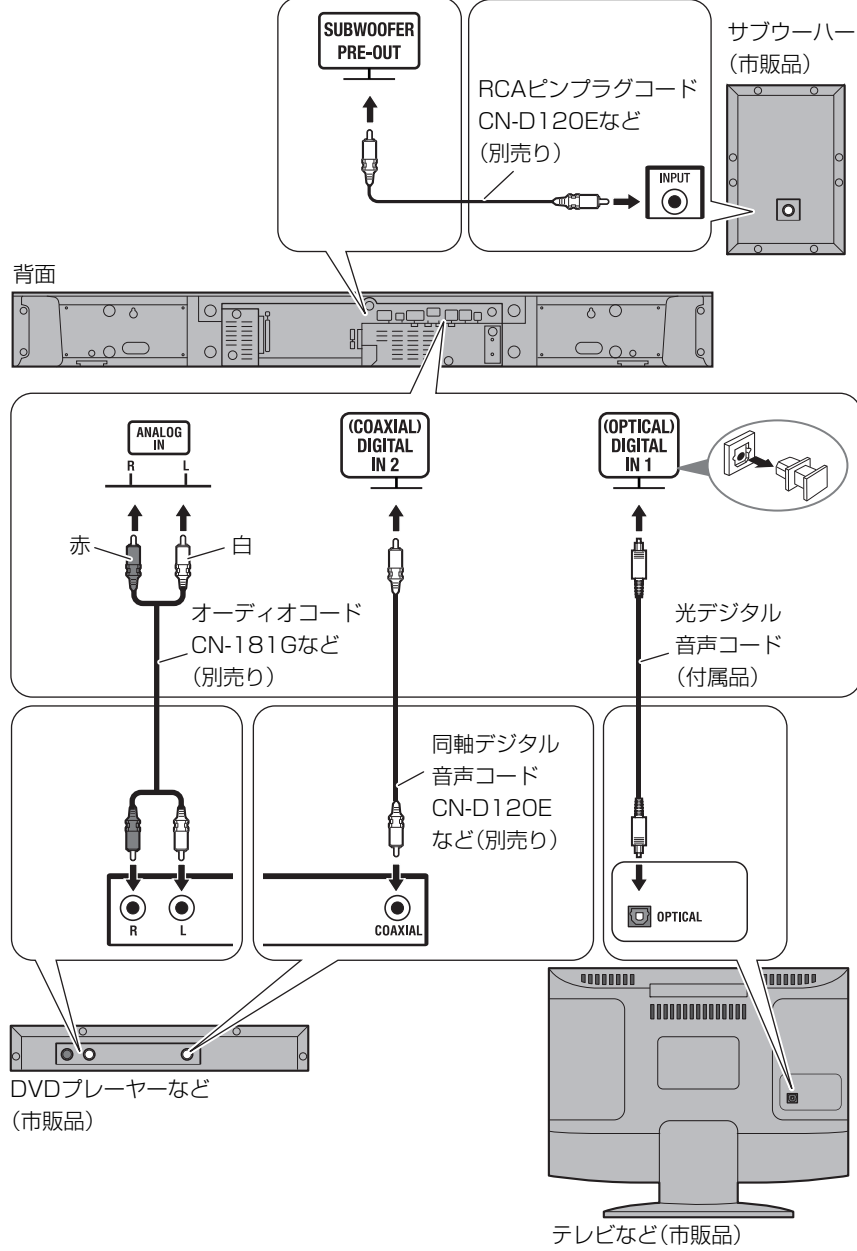
ご注意

- テレビ用リモコン信号転送ケーブルを本機に接続しても、テレビによってはテレビのリモコン信号を受信できない場合があります。これはお使いのテレビのリモコン出力赤外線周波数と、本機のリモコンセンサーの可能受光周波数が異なるためです。

外部機器の接続

アナログ端子にはアナログ音声機器を、光デジタル端子と同軸デジタル端子にはデジタル音声機器を接続できます。

またサブウーハー出力端子にはサブウーハーを接続できます。

外部機器の接続ーHDMIケーブルを使用する

HDMI入力端子やHDMI出力端子には、HDMI対応のデジタル機器を接続できます。

- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- HDCP は High-bandwidth Digital Content Protection の略称で、Digital Content Protection, LLC が認可する信頼性の高い著作権保護技術です。

テレビの接続ーiPodの映像や画像をテレビで見る

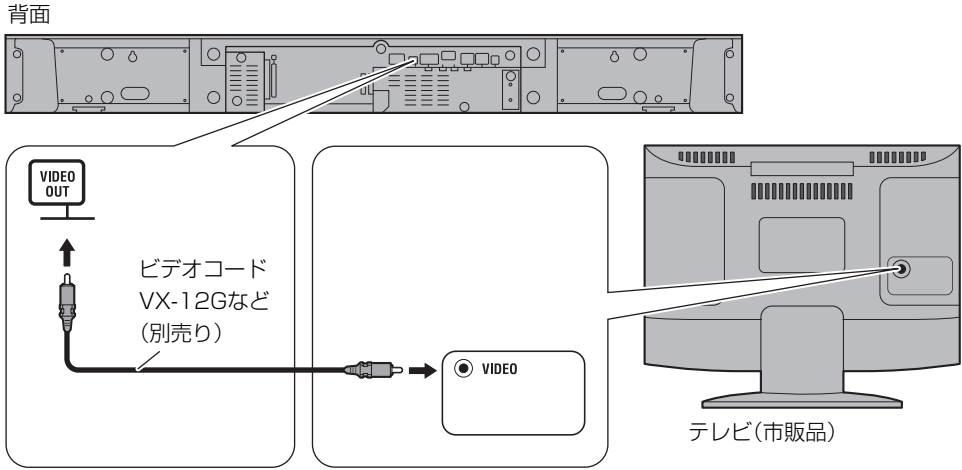
本機に接続したiPodの映像や画像をテレビで見ることができます。テレビのビデオ入力端子と本機のVIDEO OUT端子を別売りのビデオコードで接続してください。

映像出力を設定する

ソースが「IPOD」で、iPodが本機に接続されていないときに…

iPod ▶/II(本体のボタン)を押しつづける

ボタンを押しつづけるごとに、次のように表示と設定が変わります。

VIDEOOFF(iPodの映像や画像がiPod本体に表示されます) ⬅➡
VIDEO ON(iPodの映像や画像がテレビに表示されます)

電源コードの接続

すべての接続が終わったら、付属の電源コードをコンセントに接続してください。

- 付属のACアダプターを本機のDC IN端子に接続してください。付属の電源コードをACアダプターに接続してから、コンセントに差し込んでください。

ご注意

- 本機の掃除や移動は、必ず電源コードをコンセントから抜いて行なってください。

- SRS StudioSound HD は、SRS Labs Inc. の商標です。
- StudioSound HD技術は SRS Labs Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- サラウンド：SRS Labs Inc.のStudioSound HD技術を使用しています。SRS StudioSound HD™ は、安定した音量を維持し、豊かな重低音およびクリアな台詞を提供しながら、没入型の魅力あるサラウンドサウンドを提供します。
- DRC：SRS Labs Inc.のTruVolume技術を使用しています。SRS TruVolume™ は、安定した音量を維持することから、リスナーは、音量の変動に煩わされることなく、一度設定した好みの音量で、テレビ、音楽およびその他のコンテンツを楽しむことができます。
- SRS StudioSound HD™ は、安定した音量を維持し、豊かな重低音およびクリアな台詞を提供しながら、フロント向スピーカーシステムから極めて広がり感のあるサラウンドサウンドを提供します。

操作する

フロントパネルのボタンとランプ

1. **電源ボタンとスタンバイ表示ランプ**
   - 電源が切れている間は、スタンバイ表示ランプが点灯します。
2. **入力切換ボタン**
   くりかえし押すと、入力がDIGITAL1、DIGITAL2、TV ARC、ANALOG IN、HDMI1 INまたはHDMI2 INに切り換わります。
3. **サラウンドボタンとサラウンド表示ランプ**
   - サラウンドが有効になっているとき、ランプが点灯します。
4. **iPod ▶/II ボタン**
   接続したiPodを再生します。
5. **音量調節ボタン**
   「0(音量最小)」から「40(音量最大)」の範囲で音量を調節します。
6. **リモコン受光部**
   リモコンの信号を受信します。
7. **iPod用ドックトレイ**
   トレイを押してiPod用ドックを開きます。
8. **ディスプレイ**
   音量や現在のソース、設定を表示します。
9. **DRC表示ランプ**
   ダイナミックレンジコンプレッション(DRC)が有効になっているときに、点灯します。

基本操作

電源を入れる／切る

[⏻/I]を押す

お知らせ

- 電源を切っている状態(待機状態)でもわずかに電力を消費します。待機状態中はフロントパネルのスタンバイ表示ランプが点灯します。完全に電源を切るときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
- [デジタル]、[アナログ]、[HDMI]または[iPod ▶/II]のいずれかを押しても電源を入れることができます。

APS(オートパワーセーブ)を設定／解除する

節電のため本機の電源が自動的に切れます。

[APS]を押しつづける

ボタンを押しつづけるごとに、次のように表示が変わります。

APS ON(設定) ⬅➡ APS OFF(解除)

- 何の操作もされない状態で、次のいずれかの状態が29分間続いたとき、節電のため本機の電源が自動的に切れます。
  すべてのソース：
  一音量がゼロの状態
  一消音されている状態
  「DIGITAL1」または「DIGITAL2」: 光デジタル音声コードまたは同軸デジタル音声コードが接続されていない状態、または接続されているが信号の入力がない状態
  「TV ARC(オーディオリターンチャンネル)」: HDMI OUT端子に接続されていない状態、または接続されているが信号の入力がない状態
  「IPOD」: iPodが本機に接続されていない状態
  「HDMI1」または「HDMI2」: HDMI機器が接続されていない状態、または接続されているが信号の入力がない状態

何の操作もされないまま、上記のいずれかの状態になったら…

「APS」表示が1分ごとに2秒間点灯し、本機の電源が切れる30秒前から点滅を始めます。

入力を切り換える

いずれかの入力ボタンをくりかえし押して、入力を切り換える

それぞれのボタンを押すごとに、次のように入力が切り換わります。

[アナログ]: 「ANALOG IN」(オーディオコード接続)
[デジタル]: 「DIGITAL1」(光デジタル音声コード接続)➡「DIGITAL2」(同軸デジタル音声コード接続)➡「TV ARC」(HDMI OUT端子接続：下記「ARC」用)
[HDMI]: 「HDMI1 IN」(HDMI1 IN端子接続) ⬅➡「HDMI2 IN」(HDMI2 IN端子接続)
[iPod ▶/II]: 「IPOD」

0(音量最小)から40(音量最大)の範囲で音量を調節する

[音量＋]または[音量－]を押す

ご注意

- 音を出す前には音量を小さくしてください。音量が最大に設定されていると、スピーカーが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

一時的に消音する

[消音]を押す

- 音量を元にもどすには、もう一度押すか、[音量＋]または[音量－]を押して音量を調節してください。

ディスプレイの明るさを変える

フロントパネルのディスプレイの明るさを変えることができます。

[ディマー]を押す

ボタンを押すごとに、次のようにディスプレイの明るさが変わります。

DIM OFF(通常の明るさ)➡DIM 1(暗くなる)➡DIM 2(さらに暗くなる)

音声を聞き取りやすくする

録音レベルが低い音声を、聞きとりやすくすることができます(ダイナミックレンジコンプレッション、DRC)。

[DRC]を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示と設定が変わります。

DRC OFF(解除)⬅➡
DRC ON(聞きとりやすくする)

音質を調節する

低音と高音それぞれのレベルを－3から＋3の範囲で調節することができます。

1 [設定]を押して設定モードにする

2 [I◀◀]または[▶▶I]を押して設定したい項目を選ぶ
- BASS：低音の調節
- TRE：　高音の調節

3 [アップ]または[ダウン]を押して音質を調節する

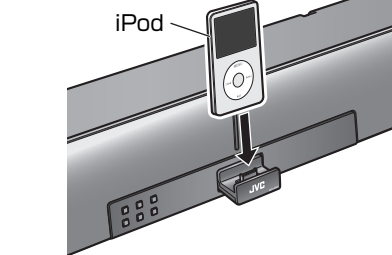
サラウンドを使う

サラウンドを使うことにより、仮想のサラウンド効果を得ることができます。

[サラウンド]を押す

ボタンを押すごとに、次のように表示と設定が変わります。

SURR OFF(解除) ⬅➡ SURR ON(設定)

iPodを再生する

iPod

iPodを接続する

電源が切れているときに…

1 トレイ(7)を押してiPod用ドックを開く

2 iPodをコネクター部分に接続する

- iPod用カバーやアクセサリーを装着したままでは本機に接続できません。iPodを接続する前にカバーやアクセサリーをはずしてください。
- iPodを接続したり、はずすときはまっすぐ抜き差ししてください。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPod用ドックが破損したり、iPodが落下して破損するおそれがあります。
- 本機のコネクターの端子部分に直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
- 本機の電源が入っているとき、または右記「HDMI Pass Through」で「ON」を選択して待機状態になったときに、iPodが充電されます。

再生する

[iPod ▶/II]を押す

- 本機の電源が切れているとき、[iPod ▶/II]を押すと、電源が入りiPodが再生されます。

早送りまたは早戻しする

[▶▶I]または[I◀◀]を押しつづける

一時停止する/再開する

[iPod ▶/II]を押す

次の曲にすすむ

[▶▶I]を押す

前の曲にもどる

[I◀◀]を2回以上くりかえして押す

曲の先頭にもどる

[I◀◀]を1回押す

iPodをスリープさせる

iPodが本機に接続されているときに…

[iPod ▶/II]を押しつづける

メニューを表示する/前のメニューに戻る

[メニュー]を押す

メニュー上の項目を選ぶ

[アップ]または[ダウン]を押して[選択/メモリー]を押す

- 一部のiPodでは、メニュー画面の操作を行なうときは、iPodで操作してください。

ご注意:

- iPhoneまたはiPod touchの接続中に次の操作を行なうときは、iPhoneやiPod touchで操作します。
  - ホームボタンを押す
  - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
  - スライダーをドラッグする
- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。

HDMI機能の設定

HDMI機能の設定を、ディスプレイ上のメニューで変更できます。

- HDMI機能の設定では、HDMI標準で使用されている制御信号も任意で選択できます(CEC制御信号)。CEC対応機器が接続されると、お互いにコントロールし合います。例えば、接続したDVDプレーヤーまたはブルーレイディスクプレーヤーで再生を開始すると、本機と接続したCEC対応テレビの電源が自動的に入ります。本機は基本的なHDMI CEC機能に対応しています。
- CEC機能についてくわしくは、接続したCEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意:

- 接続したCEC機器によっては、CEC機能が働かないこともあります。
- 本機や接続した機器の設定や状態によっても、HDMI機能が働かないことがあります。

1 [設定]を押して設定モードにする

2 [I◀◀]または[▶▶I]を押して設定したい項目を選ぶ

BASS ➡ TRE ➡ PASS THR ➡ A. OUT ➡ CEC CTRL(➡ PWR CTRL ➡SYS A. ➡ TV IN)*

3 [アップ]または[ダウン]を押して「ON」または「OFF」を選ぶ

項目が「TV IN」のときは、次のように設定が変わります。

OFF ➡ D1 ➡ ARC

4 ***2***と***3***をくりかえして他の項目を設定する

設定モードを終了するには、[選択/メモリー]を押します。

項目	内容　　**太字**:出荷時の設定
HDMI Pass Through (PASS THR)	ON: 本機が待機状態のときも、プレーヤーの音声信号と映像信号がHDMI OUT端子につないだテレビから出力されます。(消費電力は増えます。) ・本機が待機状態のときは、スタンバイ表示ランプがオレンジ色に点灯します。 **OFF**: 本機が待機状態のときは、プレーヤーの音声信号と映像信号はHDMI OUT端子につないだテレビから出力されません。 **お知らせ**: 待機状態で入力を「HDMI1 IN」と「HDMI2 IN」に切り換えるには、[HDMI]を2秒間押しつづけます。(スタンバイ表示ランプが、「HDMI1」のとき1回、「HDMI2」のときは2回点滅します)。
HDMI Audio Out (A. OUT)	TV: プレーヤーからの音声信号を本機のHDMI OUT端子につないだテレビから出力します。 **AMP**: プレーヤーからの音声信号を本機のスピーカーから出力します。 **お知らせ**: 下記「System Audio」*で「ON」を選択した場合、この設定は変更できません(「AUTO」と表示されます)。
CEC (CEC CTRL)	ON: CEC機能をオンにします。 **OFF**: CEC機能は働きません。
PWR Control* (PWR CTRL)	ON: HDMI端子につないだ機器の電源を入／切すると、同時に本機の電源が自動的に入／切されます。 **OFF**: この機能は働きません。
System Audio* (SYS A.)	ON: 本機の音量調節をテレビのリモコンで操作できます。 **OFF**: この機能は働きません。 **お知らせ**: テレビがSystem Audioに対応し、正しい設定の時のみ機能します。
TV in* (TV IN)	D1: テレビの入力をHDMI入力から他の入力に変更すると、本機の入力が「DIGITAL1」に自動的に変更されます。 ARC(オーディオリターンチャンネル): テレビの入力をHDMI入力から他の入力に変更すると、本機の入力が「TV ARC」に自動的に変更されます。 **OFF**: この機能は働きません。 **お知らせ**: ARCを使用するには、「CEC」を「ON」にしてください。またお使いのテレビが対応していることと、正しい設定になっていることを確認してください。

* これらの項目は「CEC」が「ON」のときのみ選択できます。